

第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	○	事業コード
				継続
部等名		課等名		班等名
市民経済環境部		環境課		環境保全班

事業(予算)名	地球温暖化対策事業							
総合計画体系	施策の大綱		第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち					
	施策		施策1 自然と共生し、環境負荷の少ないまちづくり					
	施策の展開		(1) 環境保全の推進					
予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	5
関連計画・根拠法令等	富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H26	富里市住宅用省エネルギー設備設置補助金交付要綱に基づくもの及び富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づきカーボン・マネジメント体制を整えるため。						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	住宅用省エネルギー設備設置補助金等による地球温暖化対策に資する事業を進めている。富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)において、令和12年度に温室効果ガス総排出量削減目標を基準年度(平成27年度)比40%削減としている。						
	対象(誰・何を)	住宅用省エネルギー設備を設置する市民、市施設						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	家庭における地球温暖化の防止対策促進のため、住宅用省エネルギー設備を設置する者に対し、補助金を交付するものである。富里市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の取組事項であるエネルギー管理システム(BEMS)導入により、インターネットを利用した電気使用量の見える化、施設ごとのエネルギーの使用状況・運転状況を把握し、天候・気温・利用時間・利用人数からエネルギー効率が最適な省エネ対策を行う。また、このデータをインターネット上で取得することができるようになり、当市の利用しているエクセルデータへの変換を自動で行い、入力の手間を省き、正確なデータの確保を行う。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	千葉県の補助事業を活用し、住宅用省エネルギー設備設置者に対し補助を行うもの日常的な施設管理の一環としてBEMSを活用し、省エネを目指すものであるため						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	目標値			指標として設定する理由
			H30年度	R元年度	R2年度	
	住宅用省エネルギー設備設置件数	件	41	33	31	各家庭における地球温暖化の防止対策
	BEMS設置施設件数	件	1	1		市施設全体のCO2削減に繋げる。
	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
	総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
			()			
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
地球温暖化対策事業	市民経済環境部	環境課	環境保全班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
住宅用省エネルギー設備設置件数	件	41	27	33	26	31	
BEMS設置施設件数	件	1	1	1	1		


評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	住宅用省エネルギー設備について千葉県の補助事業を活用し、設置者に対し補助金を交付し、温室効果ガスの排出抑制が図られたものである。 平成29年度にエネルギー管理システム(BEMS)を設置した北部コミュニティセンターについては、平成30年度に定期的に環境課・市民活動推進課・設置業者の3者で運用状況等の確認と運用改善の検討等を行い、順調に電気使用量を削減することができ、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減に繋げることができたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業内容の見直し(改善)
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き、住宅用省エネルギー設備設置補助金等による地球温暖化対策に質する事業を進めていく。BEMSを設置した公共施設については運用状況等の確認と運用改善の検討等を行い、最適な省エネ対策を行う。 また、令和元年度で国のカーボンマネジメント強化事業を活用した省エネ設備機器更新年度計画が終了するため、今後はBEMSの運用による温室効果ガスの削減に努めていく。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	住宅用省エネルギー設備について千葉県の補助事業を活用し、設置者に対し補助金を交付し、温室効果ガスの排出抑制が図られたものである。 北部コミュニティセンターに加えて、平成30年度にエネルギー管理システム(BEMS)を設置した消防北分署については、令和元年度に定期的に環境課・消防本部北分署・市民活動推進課・設置業者の4者で運用状況の確認と運用改善の検討を行い、順調に電気使用量を削減することができ、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減に繋げることができたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業内容の見直し(改善)
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き、住宅用省エネルギー設備設置補助金等による地球温暖化対策に質する事業を進めていく。 また、令和元年度で国のカーボンマネジメント強化事業を活用した省エネ設備機器更新年度計画が終了したため、今後はBEMSの運用による温室効果ガスの削減に努めていく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
清掃総務事業	市民経済環境部	環境課	クリーンセンター

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
専用線の開通	—					開通	
交通誘導員委託時間	時間	1,204h	1,329h	1,666h	1,815h	1,666h	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	平成31年4月から、クリーンセンターへ直接搬入する100kg以下の生活系ごみについても、手数料を徴収することとしたため、駆け込みで搬入する車両が増えたため、市道で渋滞が発生したが、警備員の配置により安全とトラブルの防止が図られた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	手数料を受領の際に時間がかかるため、搬入車両が多い時は市道に渋滞が発生するため、警備員を配置し、安全とトラブルの防止を図る。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	平成31年4月から、クリーンセンターへ直接搬入する100kg以下の生活系ごみについても手数料を徴収することとしたため、手数料を受領の際に時間が掛かり、市道で渋滞が発生したが警備員の配置により安全とトラブルの防止が図られた。 また、台風15、19号により、り災ごみの搬入により渋滞が発生し、警備員の配置が必要となったため、委託時間が増加した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	手数料を受領の際に時間がかかるため、搬入車両が多い時は市道に渋滞が発生するため、警備員を配置し、安全とトラブルの防止を図る。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（令和2年度 実施事業要求時）

新規・継続	継続	主要事業	○	事業コード
 【継続】の場合の区分				継続
部等名		課等名		班等名
市民経済環境部		環境課		リサイクル推進班

事業(予算)名	ごみ減量事業							
総合計画体系	施策の大綱		第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち					
	施策		施策1 地域文化を継承し、市民の仕事や趣味、生活に役立つ生涯学習の振興					
	施策の展開		(2) 廃棄物の循環・処理					
予算科目	会計	一般	款	4	項	2	目	4
関連計画・根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法第6条第1項 一般廃棄物基本処理計画							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H30	一般廃棄物処理基本計画H27～R6の10年計画の中間見直しにより、審議会を開催する。			R1	一般廃棄物処理基本計画H27～R6の10年計画の中間見直し策定		

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	計画を見直し、長期的、総合的な視点に立って、富里市における一般廃棄物の処理に係る基本方針を定めることを目標として、一般廃棄物処理基本計画を中間見直しを策定する。						
	対象 (誰・何を)	一般廃棄物処理基本計画						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	計画を見直し、長期的、総合的な視点に立って、富里市における一般廃棄物の処理に係る基本方針を定めることを目標として、一般廃棄物処理基本計画を中間見直しを策定する。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法 選択の理由	一般廃棄物処理基本計画中間見直しを策定するにあたり、素案の作成や集計、各種会議の運営、専門性の高い技術や知識を得るため、外部専門業者に委託する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	目標値			指標として設定する理由
			H30年度	R元年度	R2年度	
	委託料	円	3,369,600	3,963,600		二カ年で策定するため。
	後期基本計画 における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
	総合戦略におけ る指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
			()			
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
ごみ減量事業	市民経済環境部	環境課	リサイクル推進班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
委託料	円	—	—	3,963,600	3,963,600		

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	一般廃棄物処理基本計画中間見直しの策定するにあたり、初年度の資料作成及び分析を行う事が出来た。
		実績値を踏まえた今後の方針	予定通り事業終了
		今後の方針の理由及び今後の予定	令和元年度に一般廃棄物処理基本計画中間見直しの策定。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	社会情勢の変化や新たな取り組み等を踏まえ、最終目標年度令和6年度に向けて、減量化等の目標を達成するために、特に重要であると考えられる課題に対する重要施策を策定出来た。
		実績値を踏まえた今後の方針	減量等に向け施策の実施。
		今後の方針の理由及び今後の予定	重要施策を実施する。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	環境課	環境衛生班

事業(予算)名	八富成田斎場維持管理事業
---------	--------------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策1 自然と共生し、環境負荷の少ないまちづくり						
	施策の展開	(5) 八富成田斎場の適正な運営						
予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	5
関連計画・根拠法令等	斎場の管理に関する協定書							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・空調施設の老朽化に伴い設備の更新が必要となっている。 ・火葬炉について、耐火材交換という部分的な修繕で対応してきたが、26年以上の長期間の使用により、火葬炉全体の大規模改修が必要な時期を迎えている。 						
	対象 (誰・何を)	市民(八富成田斎場利用者)						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	八富成田斎場の維持管理のため八富成田斎場維持管理負担金を負担することにより、死体の火葬及び、葬儀場の需要に対応する。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	安定的な施設運営を図るため、非公募選定による指定管理(成田市吉倉管理組合)としている。(成田市において指定管理者指定)。また、指定管理者以外の業務(施設維持管理等)については成田市が行っている。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

	指標	単位	目標値			指標として設定する理由
			H30年度	R元年度	R2年度	
	長寿命化計画	—	策定			老朽化した施設の長寿命化を図るため
	火葬炉の改修	基		6	2	長寿命化計画に基づく施設改修を実施するため
	空調設備の交換	式			1	
指標	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
	総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
			()			
			()			
			()			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
八富成田斎場維持管理事業	市民経済環境部	環境課	環境衛生班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	長寿命化計画	—	策定	策定			
	火葬炉の改修	基			6	6	2
	空調設備の交換	式					1

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	長寿命化計画を策定したことにより、今後の改修計画立てやすくなる。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業内容の見直し(改善)
		今後の方針の理由及び今後の予定	長寿命化計画の策定により、空調施設の改修が急務となっており、修繕計画の見直しを図る。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	火葬炉のシステムの近代化改修を6基に実施した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	長寿命化計画に基づき火葬炉の改修及び空調施設の改修を行う。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	